

|  |  |
|--|--|
| (1) 活動の名称  | 瀬戸の子どもたちに元気と学びを届けたい！   |
| (2) 活動の目的・成果 (※何を目指し、何が成果として得られたかについて記載)                       | <p>愛知医科大学H I AMU (Heart In Aichi Medical University) と愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター (CCC) の学生が、瀬戸の子ども食堂で協力し活動することによって、多くのことを生み出すことができると考え企画しました。その中でも、最も大切なことは、両大学の学生が目指している将来のために得た知識によって、子どもたちに新たな学びを伝えることができるということです。それは、子どもたちやそのご家族、そして両大学の学生にとっては、大きな喜びとなります。結局コロナ禍での限られた活動でしたが、皆が有意義で豊かな時間を過ごすことができたのではないのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学生が持つ専門性を生かした企画で、子どもたちが普段から衛生面、栄養面において大切な意識を持てるようになったと思います。</li> <li>・ 大学生のアイデアによる工作、調理等を通して、保護者も含めて家族皆で楽しみながら知識を得ることができたと思います。</li> <li>・ 上記の学びを活かして、子どもたちが保護者以外の保育園、小学校等の大人との関わりの中で成長していくことができるようになると思います。</li> </ul>   |
| (3) 活動の実施内容 (※活動の実施方法、時期、場所、回数、市民等への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載) | <p>当初は、新型コロナウイルス感染状況を考慮し、7～9月は子どもたちが自宅で楽しめるキットを郵送し、10月～2021年1月は本来の子ども食堂での活動を計画していました。</p> <p>ところが、新型コロナウイルス感染が終息することなく、子ども食堂が開かれぬまま7～9月の活動を2021年1月まで下記のとおり継続することになりました。</p> <p>① 活動日：2020年8月22日 (土) 『暑い夏を乗り切ろう！パンダさんの風鈴作り』<br/>参加児童15名、参考資料：記録写真<br/>パンダをモチーフにした風鈴を各家庭で作れるように工作キットを作成して、子どもたちに配布しました。障がいのある子どもや小さい子どもでも楽しく参加できるように、いくつかの工夫を凝らして作成しました。具体的には、「貼る」「通す」「描く」といったシンプルな工程で完成できるように材料を作成した点、作業しやすいように大きめの材料を作成した点、子どもたちそれぞれの個性が出せるように、風鈴本体に絵を描けるような余白を設け、オリジナリティー溢れる風鈴が完成できるようにした点、さらには子どもたちが出来るだけ自分の力でできるように、分かりやすい説明書や気持ちが届くよう手紙を同封する点などの工夫をしました。</p> <p>② 活動日：2020年9月19日 (土) 『炊き込みご飯を作ろう！』<br/>参加児童9名、参考資料：記録写真、チラシ・レシピ・食育だより<br/>愛知淑徳大学管理栄養学部の学生が、自宅で子どもたちだけでも炊飯器1つで調理できるメニューを子どもたちに配布資料で提案しました。栄養バランスも考えて、子ども食堂を普段使っていたご家庭に活用してもらえよう工夫しました。</p> <p>③ 活動日：2020年10月17日 (土) 『バイキン大王をやっつけろ！』<br/>参加児童10名、参考資料：記録写真、チラシ</p> |

愛知医科大学医学部H I AMUメンバーが、自宅で学べる衛生面やコロナ対策のDVDを作製しました。子どもたちが飽きずに視聴できるように内容も工夫しました。バイキン、当事者の子ども、助けるスーパーマンをモチーフにストーリーを作り、大切な手洗いについては動物を使って表現することで、子どもたちの記憶に残るようにと考えました。配布先に軽度の発達障がいの子どものもいることから、誰にでも理解されるように動画にキャプションをつけたりと分かりやすいよう工夫しました。

④ 活動日：2020年11月21日（土）『元気モリモリさばごはんを作ろう！』

参加児童6名、参考資料：記録写真、チラシ・レシピ・クイズ

愛知淑徳大学管理栄養学部の学生が、自宅で子どもたちだけでも炊飯器1つで調理できるメニューを子どもたちに配布資料で提案しました。栄養バランスも考えて、子ども食堂を普段使っていたご家庭に活用してもらえよう工夫しました。

⑤ 活動日：2020年12月24日（木）『元気なおうち環境を作ろう！』

参加児童10名、参考資料：チラシ・パンフレット・加湿器作り方

愛知医科大学医学部H I AMUメンバーは、10月に子どもたちに向けて、手洗い動画を作製しました。以後も連日、感染状況が報道され、引き続き不断の感染予防を要しています。手洗いがもちろん第一の予防となりますが、加湿や換気も重要な手段ですので、様々なアイデアを紹介するパンフレットを作成しました。コロナウイルスのみならず、冬は枚挙に暇がないほどの感染症が流行する季節です。パンフレットを参考に加湿換気を徹底し、手洗いと共にウイルス対策をしていただければ幸いです。

⑥ 活動日：2021年2月5日（金）『フェアトレードを学んで、おうちでバレンタインを楽しもう！』

今回は希望者に郵送するため現在募集中、参考資料：チラシ・レシピ・紙芝居

(4) 活動実施上の工夫（※活動の趣旨・目的達成のため、特に創意工夫した点について記載）

① 活動日：2020年8月22日（土）『暑い夏を乗り切ろう！パンダさんの風鈴作り』

NPO法人楽歩の瀬戸子ども食堂るんるん店で、子どもたちにパンダの風鈴キットを配りました。軽度の発達障がいがある子どもだけでも作れるように、出来るだけ簡単で工程を少なくしました。子どもたちは喜んで受け取ってくれていました。家庭で親子でも作成して、楽しい時間を過ごして下さっていると嬉しいです。

② 活動日：2020年9月19日（土）『炊き込みご飯を作ろう！』

ツナ缶と塩昆布のみで味付けをした炊き込みご飯でしたが、よく味がでていたため調味料など計る手間が省け、簡単に調理できるレシピを考えました。「食育だより」では、ツナの栄養素や何からできているのかなどを学んでもらえるような資料を作成しました。

③ 活動日：2020年10月17日（土）『バイキン大王をやっつけろ！』

昨今のコロナ禍においては、感染予防として手洗い・うがいが第一とされ、免疫の低い子どもたちに正しい手洗いの仕方を紹介することを目的に作成しました。メインターゲットは、小学生以下の子どもたちと設定し「みてもらえる」動画作りを意識して工夫を凝らしました。BGMを最近の子どもたちの嗜好から、Youtuberがよく多用するもの、効果音やCGはアニメーションなどでたびたびみかけるものを採用し、伝わりやすい平易な表現とともに構成しました。また、これらはフリーの素材を使用しております。感染終息の先が見通せない中、継続的に非接触・非対面で感染予防を周知するために、この動画が一助となれば幸いです。

④ 活動日：2020年11月21日（土）『元気モリモリさばごはんを作ろう！』

三食食品群の図を作り、使用した食材を当てはまる色に分けることで、この食材は何色に分類されるのか興味をもってもらえれば良いと思いました。配布した子どもが「作ってみる！」と楽しそうに話していましたので嬉しく感じました。

⑤ 活動日：2020年12月24日（木）『元気なおうち環境を作ろう！』

今回のメインターゲットは、親御様つまり大人の方とし、10月の動画同様に「みてもらえる」パンフレット作りを意識して工夫を凝らしました。これはアイデアを紹介するパンフレットではありませんが、見た人が行動したくなる、欲しくなることを目的とする点で、企業が行う「広告」と同じだと考えました。そのためパンフレット作りにおいて、多くの企業の広告内の写真や文章の魅せ方を参考にし、他にもパンフレットのデザイン本から勉強させていただくなどオシャレで興味の湧くパンフレットを作成しました。また、付録として手作りフラワー加湿器キットを同封することで加湿を実践していただき、行動変容を促しました。

⑥ 活動日：2021年2月5日（金）『フェアトレードを学んで、おうちでバレンタインを楽しもう！』

本年度活動の最後は、愛知淑徳大学CCCの学生が中心となり、子どもたちに世界の子どもたちにも目を向けてもらおうという企画です。フェアトレードを紙芝居にし、バレンタインデーに食べるチョコレート原材料であるカカオの実を取る仕事をしていて学校に行けない発展途上国の子どもたちの生活を分かりやすく描きました。

(5) 活動実施上の反省点（※具体的な反省点等について記載）

反省点というより、コロナ禍で本来の子ども食堂での活動ができなかったのが残念でした。子ども食堂を運営しているNPO法人楽歩様から下記のコメントをいただいております。

今年度は、コロナの影響で子どもたちと調理をして交流する、食事を楽しむということができませんでした。代わりに、会えないけれど自宅に想いを届けたいと、学生さんが様々なアイデアを考え、実行してくれました。毎月、変わっていく企画のおかげで、これが機会に施設周辺に住む初めて子ども食堂に来る子どもたちも出ました。「バイキン大王をやっつけろ！」や加湿器は、コロナ禍に大変役に立つ企画だったと思います。どちらも子どもたちにきちんと伝わるように工夫がされていました。

コロナが終息して、また例年通りの子ども食堂ができるようになったら、色々な学生さんと子どもたちがつながりながら、地域を支えてくださると有難いです。